



メールマガジン「ユニバーサルひょうご通信」第128号
発行：兵庫県ユニバーサル推進課 令和3年4月9日



新年度がスタートしました。

新生活をスタートする学生や社会人を応援するかのように咲き誇っていた桜も、すっかり葉桜になり、日に日に日差しが眩しく感じられます。

相変わらず、コロナ禍での生活を工夫せざるを得ない毎日。

何ごともなかったように巡る季節に、なぜか安らぎを感じます。

早くマスクを取って、思いっきり深呼吸がしたいです。

それでは、ユニバーサルひょうご通信4月号をどうぞ！



【今月のピックアップ！】

①コロナ禍において、障害特性の理解を求める啓発動画を制作しました

②「第16回芸文祭 美術工芸作品公募展」が開催されました

【手話カフェ】

③聴覚障害のある方と一緒に働くとき・学ぶとき

【イベント・募集】

④ひょうごユニバーサル社会づくり賞候補者の募集(×5/14)

⑤補助犬の貸付希望者の募集(×5/11)

⑥要約筆記者養成講座(淡路地域、阪神北地域)の受講生募集

⑦「兵庫県障害者アートギャラリー」4月の催し

【ラジオ】

⑧ラジオ「濱田祐太郎のひょうごユニバーサル通信」



①コロナ禍において、障害特性の理解を求める啓発動画を制作しました

障害のある方は、コロナ禍で、一層困難なことが多くなっています。具体的にどのような困難を抱えておられるのか、また私達にはどのようなサポートや理解が必要なのか。

ぜひ一度動画をご覧ください。

ナビゲーターはひょうごユニバーサル大使の濱田祐太郎さんです。学校や職場での研修等にもご利用ください。

「できることからはじめよう！みんなの声かけ運動
～コロナ禍における盲ろう者の生活を見つめて～」 10分

「できることからはじめよう！みんなの声かけ運動
～コロナ禍における知的障害や自閉症をお持ちの方の
生活を見つめて～」 10分

■動画は「ひょうごチャンネル」(兵庫県インターネット放送)で、
4月19日(月)午前中に公開します。ぜひご覧下さい。

②「第16回芸文祭 美術工芸作品公募展」が開催されました

3月5日～7日の3日間、兵庫県立美術館 ギャラリー棟3階で、
第16回兵庫県障害者芸術・文化祭「美術工芸作品公募展」が開催
され、魅力ある多くの作品が展示されました。

最終日にはミュージアムホールで表彰式が行われ、兵庫県知事賞、
兵庫県議会議長賞など9つの賞を27名の方が受賞されました。

詳しくは県のホームページをご覧ください。

https://web.pref.hyogo.lg.jp/press/20210305_7263.html

③【手話カフェ】

～ 聴覚障害のある方と一緒に働くとき・学ぶとき ～

冒頭のとおり、暖かな風に桜が満開、新たな環境で春を迎えている方がたくさんおられるでしょう。その中に、補聴器や人工内耳をつけた方もおられることと思います。

4月1日は私の所属する部でも、異動や新任の方々が挨拶に来られました。みなさん、マスクをしていて顔がよく見えません。自己紹介をされても、マスク越しでよく聞き取れなかったり、大勢の方の後ろから声だけ聞こえたり。

「もし、私が聴覚障害だったらお名前も顔もわからないな・・・」と感じました。

耳の聞こえない人がそこにいないとしても、よりよく伝える工夫をみんなが身に付けておくのはいかがでしょうか。

例えば上記の場面では、紹介する方は名前を呼ぶとともに、手で指し示すなど見てわかる方法を併用します。呼ばれた方は、名札があるなら名札を見せて名前を言います。珍しい漢字の読み方をすお名前の方もおられますので、漢字と読みを確認することもできます。

自分が話すときは、うつむき加減でなく、しっかり前を見ましょう。はっきりと声を出すことができます。

先号までお話ししたように聞こえは人の社会生活に必要不可欠な「情報取得」と「コミュニケーション」に深くかかわっています。

聞こえない・聞こえにくい方がはっきりわかって行動できるとき、その社会は誰にとってもよくわかる・はっきり伝えられる社会ということですね。

職場や学校で近くにいる方が聴覚障害である場合には、上記の工夫に加えて障害に対する配慮が必要です。適切な感染予防ができていない場ではマスクを少しずらして、口形をはっきり見せる、文章や絵など見てわかるものを併用する、全員に知らせる内容はメールの一斉送信を使うなど、耳が聞こえる人と「同時に、同程度」理解できる方法を工夫してください。うっかり聞きもらしているのではなく、「聞き取れない」「今、音声があるかどうかわからない」のが聴覚障害です。わかるように伝え、会話するための配慮は特別扱いとは違うものです。

周りの人が聴覚障害の方の話を聞いて、一緒に障害について理解を深める学びを重ねていくことも大切です。新しい春を、聞こえる人も聞こえない人も安心して迎えられるように、一緒に環境を整えていきましょう。

④ ひょうごユニバーサル社会づくり賞の候補者募集(×5/14)

県は、年齢、性別、障害の有無、文化等の違いに関わりなく、全ての人が地域社会の一員として尊重され、互いに支え合い、一人ひとりが持てる力を発揮して活動することができる「ユニバーサル社会」を、皆さまと一緒に実現することを目指しています。

今年度も、ユニバーサル社会づくりに向けた個人・団体・企業の率先した実践活動を「ひょうごユニバーサル社会づくり賞」として、顕彰します。

ユニバーサル社会の実現に向けて取り組まれている個人、団体、企業の方は、ぜひご応募ください。(自薦、他薦を問いません。)

■対象

ユニバーサル社会づくりの率先した活動を行っている兵庫県内に在住又は活動拠点を置く個人、団体、企業

■申し込み方法

応募用紙に必要事項を記入のうえ、ユニバーサル推進課に提出してください。(郵送、メール、持参いずれも可)

■募集締切

令和3年5月14日(金)

■詳細は県 HP をご覧下さい。

<https://web.pref.hyogo.lg.jp/kf10/universal/shakaidukuri.html>

⑤補助犬の貸付希望者の募集(×5/11)

県は、障害がある方の自立と社会参加を進めるため、身体障害者補助犬の貸付事業を行っています。

補助犬というと「盲導犬」を思い浮かべる方が多いのですが、それだけではありません。手や足に障害のある人の日常生活動作をサポートする「介助犬」や、聞こえない・聞こえにくい人に必要な生活音を知らせる「聴導犬」もいます。

■補助犬の貸付希望者を募集中

今年度も、5月11日まで、補助犬の貸付希望者を募集しています。貸付を希望される方は、まずは、居住地の市福祉事務所・町役場の障害福祉担当課にご相談ください。

■申請についての詳しい内容は、県 HP に掲載しています。

https://web.pref.hyogo.lg.jp/kf10/hw20_000000024.html

⑥要約筆記者養成講座(淡路地域、阪神北地域)の受講生募集

聴覚に障害のある方(主に中途失聴者・難聴者)へのコミュニケーション支援を担う要約筆記者の養成講座を開講します。話の内容を要約して文字にし、その場で伝える要約筆記の技術や、福祉の基礎知識などを学ぶ講座です。ぜひご参加ください。

■募集締切 4月20日(淡路地域)
5月25日(阪神北地域)

■申込先・問合せ先
兵庫県立聴覚障害者情報センター 要約筆記者養成講座担当
電話:078-805-4175 FAX:078-805-4192

■詳細は HP でご確認ください。

淡路地域

<https://forms.gle/JbQcghsH3HjwfrYp6>

阪神北地域

<https://forms.gle/26JpLdv7Rx5EFnZ38>

⑦「兵庫県障害者アートギャラリー」4月の催し

神戸市灘区の県立美術館王子分館「原田の森ギャラリー」内にある「兵庫県障害者アートギャラリー」では、「ゆとり作業所 ちぎり絵作品展」を開催しています。

障害のある方々が、様々な表現手段を使い、自由な発想で創作された豊かな創造の世界をどうぞご鑑賞ください。

■「ゆとり作業所 ちぎり絵作品展」

<https://hyogo-arts.or.jp/harada/exhibitionmonth/202104>

⑧ラジオ「濱田祐太郎のひょうごユニバーサル通信」

4月から新コーナーが！放送日は毎月第3火曜日に！

昨年4月から好評放送中のラジオ「濱田祐太郎のひょうごユニバーサル通信」が、4月からさらにパワーアップします。

■4月からの放送予定

ラジオ関西 毎月第3火曜日 15:20～15:40

(夕方の情報番組「PUSH!」内)

※月曜日から、火曜日に変更になりました。

■濱田祐太郎さんへのメッセージや番組の感想を募集しています

4月から、番組内でリスナーからのお便りを紹介します。ユニバーサル大使の濱田祐太郎さんへのメッセージや、ラジオを聞いてのご感想、まちかどでユニバーサル社会を感じたことなどありましたら、番組までメッセージをお送りください。(宛先 push@jocr.jp)

ユニバーサル社会について楽しく語り合うひとときになればと思います。

■3月の放送内容

3月15日放送のゲストは、「日本パーソナルセンター株式会社」の大本正巳さん。テーマは「障害を持つ方が働く、障害を持つ方と働く」。

障害を持つ方の社会参加に欠かせないものは何か。働き方や周囲のサポートについてお話いただきました。

また番組後半は、就労継続支援B型事業所「五色精光園あゆみの部屋」の、淡路島牛乳をふんだんに使ったこだわりの食パン「淡雲(あわぐも)」をご紹介します。

詳しい放送内容は、ラジオ関西「ラジトピ」をご覧ください。

<https://jocr.jp/raditopi/2021/03/19/263418/>

■次回のラジオ「濱田祐太郎のひょうごユニバーサル通信」

4月20日(火)15時20分～15時40分

(ラジオ関西「PUSH!」内)

ゲストは手話通訳士で、兵庫県の設置通訳者の楠圭子さん(予定)です。

【編集・発行】

イベント情報や、メルマガの配信希望・中止等のご連絡は以下まで

兵庫県健康福祉部障害福祉局ユニバーサル推進課
〒650-8567 神戸市中央区下山手通 5 丁目 10 番 1 号
TEL:078(362)4379 FAX:078(362)9040
Mail:universal@pref.hyogo.lg.jp
